

2010年4月30日

各位

双日株式会社

双日、サウジアラビアで IPP に参画
～ 1720MW のガス焚きコンバインドサイクル発電 ～

双日株式会社は、世界大手のガス・電力会社であるスエズグループ (Suez-Tractebel SA/Suez)、サウジアラビアの大手財閥であるアル・ジョマイ (Al Jomaih Holding Company/Al Jomaih) とともにサウジアラビアで IPP (独立系発電事業者) 事業に参画します。

サウジアラビアのリヤド市西 125 km の地区で建設予定のガス焚きコンバインドサイクル発電所「リヤド PP11」の入札案件で、双日は Suez、Al Jomaih とコンソーシアムを組成することになりました。コンソーシアムはサウジ電力会社 (Saudi Electricity Company) から独占交渉権を取得しており、5 月末には正式契約の予定です。

「リヤド PP11」の総事業費は約 2000 億円で、双日は約 100 億円の投融資を計画しています。双日 15%、Suez 20%、Al Jomaih 15%、サウジ電力会社 50% の出資比率で事業会社を設立し、発電所の建設および運営・管理を行っていく BOO (建設・所有・運営) 方式のプロジェクトで、サウジ電力会社と 20 年間の長期売電契約を締結します。発電所は 2010 年 6 月に着工し、2013 年 5 月に商業運転を開始する計画です。

「リヤド PP11」は、ガスタービンと蒸気タービンによるコンバインドサイクル (複合発電) 方式で発電します。出力は 1720MW で、環境負荷が低く、燃料効率に優れているのが特長です。サウジアラビアでは、豊富な石油資源を生かした重油焚き発電が主流でしたが、環境への配慮から、ガス焚きコンバインドサイクル発電が注目されており、「リヤド PP11」も期待のプロジェクトです。

双日は 30 年以上にわたり、サウジ電力会社向けに変電・送電設備の供給を行ってききましたが、中東では初めてとなる IPP 事業への参画を機に、さらなる関係強化を図っていきます。双日は、長期安定収益が見込まれる IPP 事業を重点分野と位置付けて、拡大・強化を図っています。今後も中東の湾岸諸国や東南アジアなどを中心に IPP 事業に注力していきます。

【本件に関する問い合わせ】

双日株式会社 広報部 03-5520-3188